



2019年度(一社)日本エシカル推進協議会
定時総会・記念シンポジウム

フェアトレード海外報告

認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン
2019年6月12日

フェアトレード・インターナショナル 組織概要

Goal 1

トレードを“FAIR”にする

Goal 2

生産者・労働者のエンパワメント

Goal 3

持続可能な社会の構築

開発途上国 **75カ国・160万人以上**の生産者・労働者と**消費国30カ国**メンバーが参加
国際フェアトレード認証ラベル製品は**世界130カ国以上で流通**

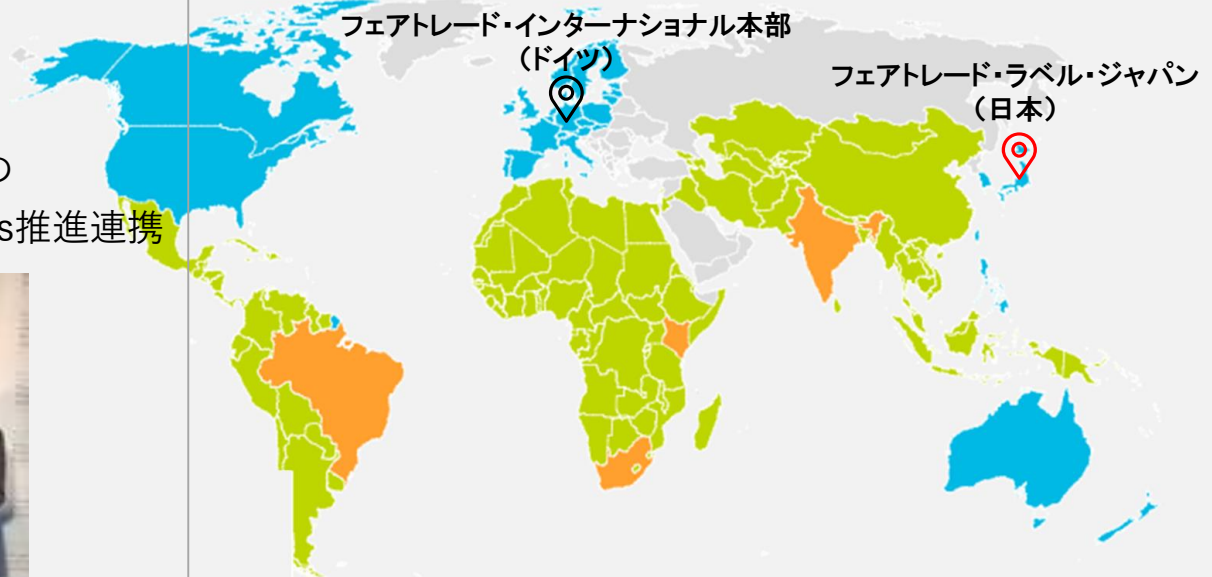


フェアトレード・インターナショナル
— Fairtrade International —

- 1997年設立
- 2016年より欧州委員会(EC)の戦略的パートナーとしてSDGs推進連携



フェアトレード・インターナショナル カバー領域



- 消費国(ラベル推進組織が存在)
- 生産国(生産国としての対象地域)
- 消費国かつ生産国



国際フェアトレード認証対象原材料・製品

砂糖、大豆、果物、蜂蜜、ナッツ類、胡麻等、原材料ベースで300種類以上



コーヒー



カカオ



バナナ



コットン



香辛料



茶葉



ワイン



バラ



ごま



砂糖



スポーツボール

フェアトレードプレミアム 品質・生産性向上へも投資

2017年 フェアトレード・プレミアム生産者受取総額
約1億7800万ユーロ（約225億円）



苗木づくりと配賦



専門家派遣と農業技術の習得



カップングや技術講習会の開催

フェアトレード プレミアムを活用して、持続可能な生産へ取り組む



有機肥料づくりや貯水灌漑設備の設置



ラボ設置やカフェ運営など、次世代の育成



リタイア後に備え、年金制度をつくり、運用

SDGs達成に向けた戦略的パートナーシップ合意

2016年3月18日発表

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を安全なための17の目標



欧州委員会



フェアトレード・インターナショナル



【パートナーシップ概要】

◇ プロジェクト期間： 2016年-2020年

◇ 目的

1. フェアトレード生産者組織の組織力強化
2. 貿易の公正化に向けた政策・方針づくり
3. グローバルなフェアトレード・システムを確立する

小規模生産者や労働者への公正な取引の促進により、
貧困撲滅や持続可能な生産・消費の促進といった
SDGsのゴール達成に寄与



ユーロ紙幣の材料にフェアトレード認証コットン使用（オランダ銀行）

オランダ銀行

De Nederlandsche Bank

DeNederlandscheBank

EUROSYSTEEM

ユーロ紙幣にフェアトレード認証コットン使用（2007年～）
アフリカとインドの小規模農家から調達



DNB Annual Reportより

“Sustainable cotton: cotton produced under sustainable conditions and/or organically, and which has been awarded a verified quality mark (e.g. Fairtrade).”



オランダ銀行「持続可能な調達方針(Sustainable Procurement)」

コットン/繊維のサプライチェーンがより持続可能なものになるよう、
2019年までに、サステナブルコットン100%調達を目指す

2017年時点での達成率86.6%

フェアトレード認証もしくはオーガニック認証、その他、
第三者認証(BCI)で調達

出所: <https://www.dnb.nl/en/payments/dnb-en-eurobankbiljetten/nieuwe-biljetten/index.jsp>





ロンドン交通局職員制服



パリ空港職員制服

欧州ではユニフォームにもフェアトレード認証製品



フランス郵政公社職員制服



パリ市清掃員作業服

世界のフェアトレード認証製品市場

世界のフェアトレード認証製品
推定市場規模 2017年
約85億ユーロ
(約1兆742億円)



※資料内のロゴや商標は各社の登録商標です。

グローバルブランド サステナブル調達100%へ

Starbucks Coffee



FAVOURITES		ALL OUR COFFEES SUGAR, CALF, AND TAKEAWAY CERTIFIED		
HOT DRINKS				
		SINGLE	DOUBLE	
FAIRTRADE ESPRESSO (ESPRESSO, MACCHIATO)		1.50	1.90	
CON PANNINA		1.75	2.15	
FLAT WHITE (ESPRESSO, CREAM, CINNAMON ESPRESSO)		2.50	2.90	
☕☕☕☕☕				
CAPPUCCINO		2.75	2.60	2.10
CAFFÈ LATTE		2.75	2.60	2.10
CAFFÈ AMERICANO		1.75	2.20	2.45
WITH BAKED OR BUILT UP FLOURISHES (ESPRESSO)				
CAFFÈ MOKKA		2.55	2.75	3.25
GRIND YOUR OWN WHOLE BEANS				
CARAMEL MACCHIATO		2.65	3.00	3.20
FLAVOURS MIXED WITH WHIPPED CREAM, ESPRESSO, VANILLA AND CARAMEL SAUCE				
FILTER COFFEE		1.75	1.90	2.05
HOT CHOCOLATE		2.40	2.80	3.10
FOR ADDITIONAL INFORMATION CHECK OUR WEBSITE OR CONTACT US				
★TEA★	ESPRESSO AND VANILLA	1.75	1.75	2.05
BARTOLINO		10p		
☕				
EXTRAS		BUT IF YOU WANT ESPRESSO, FLAVOURS, FRUIT, WHIPPED CREAM OR WHIPPED CREAM, CHECK OUR WEBSITE OR CONTACT US		
☕				
10p				

欧州全店舗100% フェアトレード認証コーヒー(エスプレッソ)
さらに、RTD ほぼ全てフェアトレード認証で製品化



Nespresso



NESPRESSO

「マスター・オリジン」シリーズ

ログイン

ショッピングバッグ (0)

ご注文

FAIRTRADE

マスター・オリジン インドネシア

スマトラ島北部のコーヒー生産者たちは、多湿な気候にふさわしいウェット・ノリ精製法を用いて、非常に特徴的なコーヒーを磨り上げました。その結果、豊かなアロマと木を思わせる香りを持つ、エキゾチックな味わいのコーヒーが誕生しました。

+

2013年よりフェアトレード・インターナショナルとの連携スタート
(コロンビアでのコーヒー農家向け退職金基金など)

2018年9月
認証ラベル付きカプセル発売



欧米流通大手 フェアトレード認証製品取扱い加速

欧米の大手流通各社ではPB商品で幅広くフェアトレード認証製品化



M&S
EST. 1884

TESCO

COSTCO
WHOLESALE

REWE



MIGROS

Sainsbury's

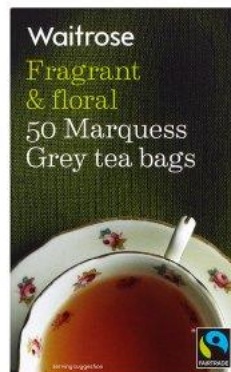
イギリス大手流通Sainsbury's (セインズベリー)
フェアトレード認証製品取扱世界最大規模
(2017年度実績・約435億円)



- ・1994年～フェアトレード認証製品販売(コーヒー)
- ・2008年～販売バナナ100%フェアトレード認証へ切替

Waitrose

イギリス大手流通Waitrose (ウェイトローズ)
2007年からフェアトレード認証製品取扱い



現在250のPB商品でフェアトレード認証
2017年～PB紅茶全46品を
100%フェアトレード化



ドイツ流通大手LIDL (リドル)
フェアトレード認証バナナ100%切替
購買量15万トン (2018年9月発表)



約700万ユーロ(約9億円)の
フェアトレード・プレミアムが
コロンビアのバナナ生産者の
社会発展に活用

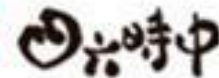
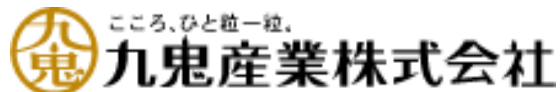
※資料内のロゴや商標は各社の登録商標です。



日本でも広がるフェアトレード認証製品 <約190社より一例>



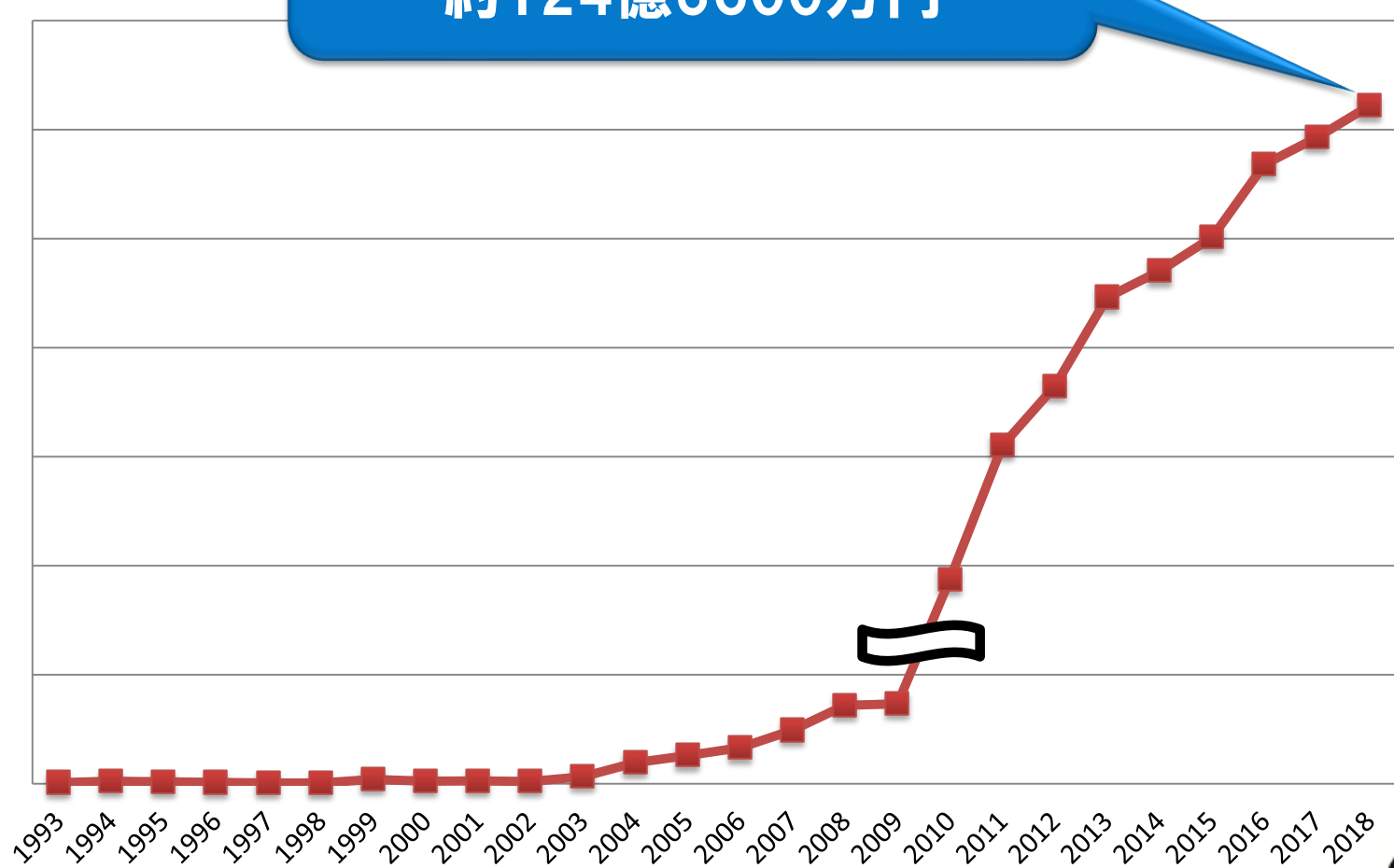
フェアトレード認証製品
国内推定市場規模(2018年)
約124億3,600万円



国内 フェアトレード認証製品市場規模推移 1993-2018

(単位:千円)

2018年 国内推定市場規模
約124億3600万円



フェアトレード認証製品の導入採用企業 <国内>

企業名（年月はフェアトレード認証取組開始時期）	
DNP 大日本印刷	2006年4月～
 NTT Communications	2006年12月～
NTT DATA	2014年～
 KONICA MINOLTA	2014年夏～
 日本郵船	2015年10月～
SHINONOME 司法書士法人・行政書士法人 星野合同事務所	2015年11月9日～
 MITSUBISHI ELECTRIC	2015年11月20日～
 ABeam Consulting®	2018年1月～
 日清製粉グループ®	2018年7月～



フェアトレード認証 Cotton の
オリジナルグッズ



来客用・社内カフェのコーヒー



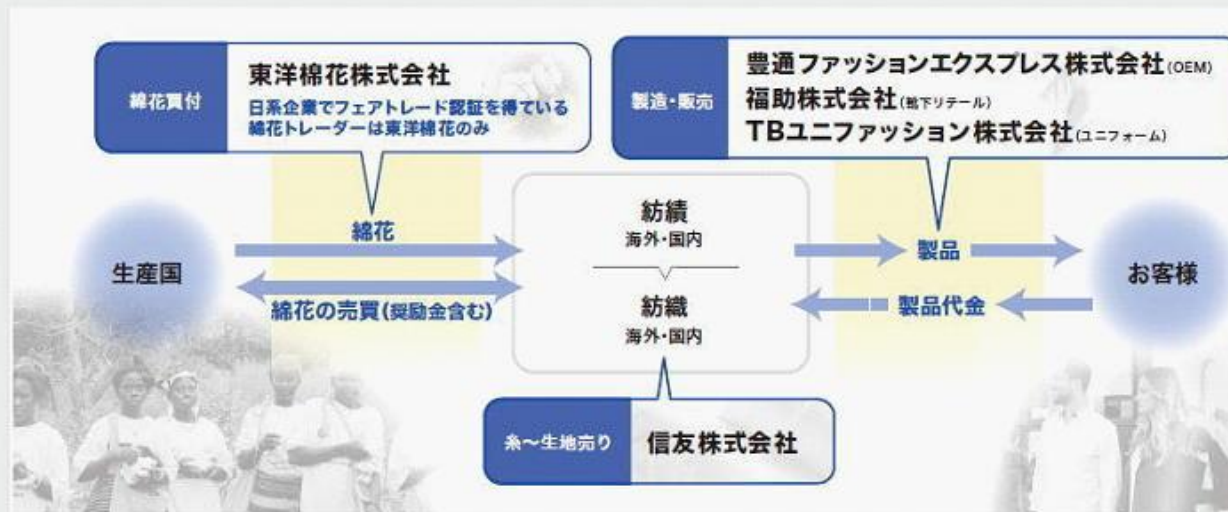
社員食堂 ランチメニューへの認証原材料導入

豊田通商グループ フェアトレード認証コットンビジネスに参入

豊田通商グループは、フェアトレード認証コットンの綿花買付から製造販売まで一貫して認証を取得

豊田通商グループだからできる一気通貫ビジネス

「綿花」「糸」「生地」「製品」のどの段階でも販売できます



認証コットンを使った行政・企業向けユニフォーム
の製造・販売を開始

グループ社員用ユニフォームを
順次切り替える計画
(想定数量は数千枚)

【参照】2018年1月31日発表プレスリリース

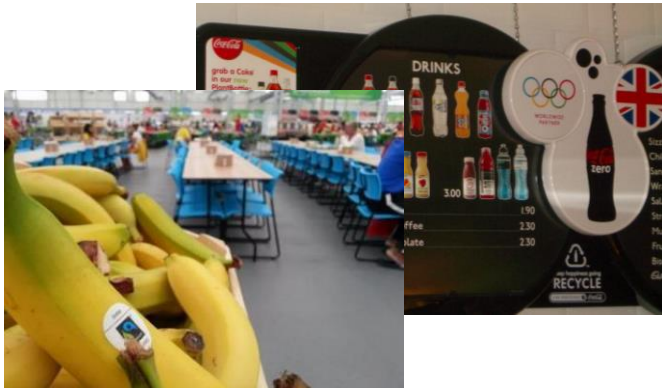
http://www.toyota-tsusho.com/press/detail/180131_004110.html



オリンピック・パラリンピックでのフェアトレード調達

2012年
ロンドン大会

調達基準にフェアトレード認証採用
＜コーヒー、紅茶、バナナ、砂糖など＞



2016年
リオ大会

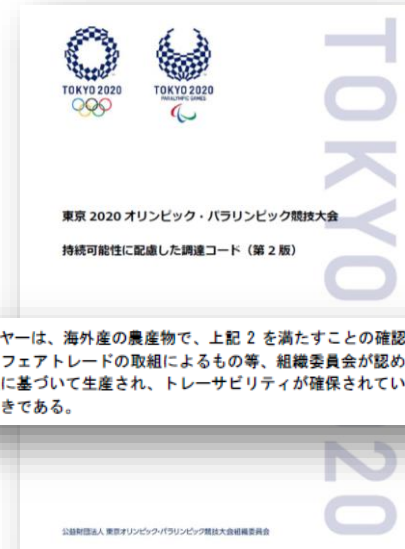
調達基準にフェアトレード認証採用
＜果物、野菜、コメ、豆、アサイー、ブラジルナッツ等＞



2020年
東京大会

東京2020組織委員会が認める
認証スキームとして

国際フェアトレード認証が承認されました
＜コーヒー、茶、カカオ、果物、果汁、香辛料、ごま、砂糖、ワイン＞



7. サプライヤーは、海外産の農産物で、上記2を満たすことの確認が困難なものについては、フェアトレードの取組によるもの等、組織委員会が認める持続可能性に資する取組に基づいて生産され、トレーサビリティが確保されているものを優先的に調達すべきである。

全開催地域で、フェアトレード認証原料が提供
会期中の6週間での推計提供数量

- ・フェアトレードバナナ 1000万本
- ・フェアトレード紅茶 750万杯
- ・フェアトレードコーヒー 1400万杯
- ・フェアトレードワイン 220万本

競技会場での
フェアトレード認証コーヒー提供他、
大会期間中にリオデジャネイロが
フェアトレードタウン認証も取得

12年ぶりのコーヒー相場下落再び 農家の生存脅かす



Figure 1: ICO composite indicator daily prices

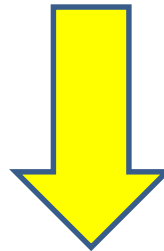


コーヒー国際相場の下落による農家へのインパクト

2016年末の1.55USD/ポンドから実に40%近く下落

**コーヒー農家が被った経済的損失
年間110億ドル(約1兆2430億)**

※円 - 1ドル113円換算



このような状況は農家の貧困を助長し、
非合法作物への転換を拡大するとして警鐘

一方…

**コーヒー会社全体のサステナビリティへの年間投資額
およそ3億5000万ドル(約395億円)**

ESG投資拡大により、 日本企業も フェアトレードへの取組が 加速

2019年(平成31年)1月15日(火曜日) ©日本経済新聞社2019 (日刊)

夕刊
1月15日
(火曜日)

帝人

認証コットン **イオン** カカオ取引10倍

す。人財と設備投資を意図した企業に授与するE-S-G投資の正がりを要し、四国品の市場規模は世界で1兆円を越えた。日本でも社会的責任を意識した企業の取り組みが本格化する。

常人フロンティア飲料
商業企業並の関由を成
は「フエア・レー」製品
を作るコストは従来より
1/3に削減しながら、消
費者に受け入れられやす
くして来たに違いない。

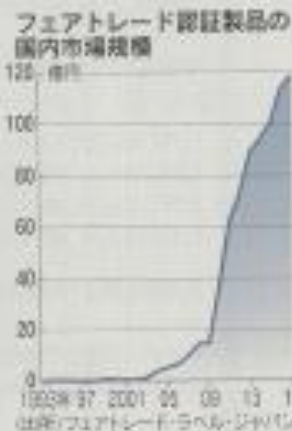
ルで、ある二千人に、
「コービーやマイケル・ジョーダンなどの新顔選手のファブ・トレード（商品を数個のアイテムに、20年までに価値が倍増する力カオの取引）を以て、比喩に用います。同社は、ブライバートブランド（PBR）の自主企画「特選のトップアパレル」などで、商品を数個、約8000個、店舗で販売している。インターネットサイトでは、楽天が1月1日から「大相撲」で優勝や昇進に

下図は、2009年10月1日現在、登録されている「**トヨタ自動車株式会社**」の登録商標の数を示す折線グラフである。

商品の販売を始めた。また、
「フリー」も同年までに「フュー
ト」ブランド商品の販売を始
めた計画だ。

▼フェアトレード（公正取引） 途上国で生産された農産物などが、過剰に価格で競争的に取引されてきたのを、途上国の生産者の生活を改善する運動の一つ。1980年代から欧米で本格化し、1990年代前半の植民地による搾取がないかなどを基準に、フェアトレード・ラベル・ジャパンが認証を主催する。チョコレート、コーヒー、紅茶や香料品などが対象。

「一生師者の人権について考へてもらう」(二行森子、松野源三主筆) といふ、以後、持続可能性に配慮して作られた資料を使ったランチの提供も検討する。フェアトレード・イニ-



2017年 各国フェアトレード認証製品推定市場規模 (単位:ユーロ)

世界市場 約85億ユーロ (約1兆742億円)

イギリス 約2,550億円 - 日本の21倍以上

ドイツ 約1,680億円 - 日本の14倍以上



**「商品の本当のコストを見ず
持続可能な価格を支払わずして、
農業に未来はない。
サステナビリティに取り組むことは
オプションではない。マストなのだ。」**

マリケ・デ・ペニャ氏
ドミニカ共和国のバナナ生産者
ラテンアメリカ・フェアトレード生産者ネットワーク代表理事

ご清聴ありがとうございました

